



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月25日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 日立ハイテクノロジーズ

コード番号 8036 URL <http://www.hitachi-hitec.com/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 久田 眞佐男

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 加藤 弘之 TEL 03-3504-5138

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 平成23年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	321,562	△4.1	12,277	△10.8	12,517	△12.7	7,891	△19.3
23年3月期第2四半期	335,257	19.0	13,763	—	14,332	—	9,780	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,703百万円 (△29.2%) 23年3月期第2四半期 8,054百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	57.38	—
23年3月期第2四半期	71.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	425,359	247,172	58.1
23年3月期	413,267	242,845	58.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 247,002百万円 23年3月期 242,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

24年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650,000	△0.5	28,000	0.4	28,000	△5.0	18,000	1.4	130.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	137,738,730 株	23年3月期	137,738,730 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	199,347 株	23年3月期	199,127 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	137,539,481 株	23年3月期2Q	137,541,598 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)平成24年3月期 通期の業績予想」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 当第2四半期連結累計期間の概況	P. 2
(2) セグメント別の概況	P. 2
(3) 平成24年3月期 通期の業績予想	P. 3
(4) キャッシュ・フローの状況	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 5
4. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報等	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 321,562 百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)比 4.1%減)、営業利益 12,277 百万円(前年同期比 10.8%減)、経常利益 12,517 百万円(前年同期比 12.7%減)、四半期純利益 7,891 百万円(前年同期比 19.3%減)となりました。

(2) セグメント別の概況

電子デバイスシステム

半導体製造装置は、エッチング装置が、海外大手半導体メーカーの微細化投資を背景に、米国市場向けを中心に大幅に増加しました。測長SEMは、当期前半は、アジア・欧米市場向けを中心に、海外大手半導体メーカーが大型設備投資を実施したものの、震災により出荷が延期となった影響等により、ほぼ横ばいに推移しました。チップマウンタ及びダイボンダは、アジア市場におけるメモリー市場の低迷を受けた設備投資の延期等により減少となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 53,158 百万円(前年同期比 10.8%増)、経常利益は 5,272 百万円(前年同期比 2.1%増)となりました。

ファインテックシステム

FPD関連製造装置は、テレビ用液晶パネルの価格下落等による、液晶パネルメーカーの収益悪化を背景に、露光装置、実装装置ともに減少しました。ハードディスク関連製造装置は、ハードディスクドライブメーカーの統合による影響が不透明なことから、顧客が設備投資に慎重となり、低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 11,533 百万円(前年同期比 33.9%減)、経常損失は 2,315 百万円(前年同期は 504 百万円の経常利益)となりました。

科学・医用システム

分析計測機器・解析装置は、解析装置を中心に、材料関連分野等において需要が拡大したことに加え、震災により前年度末の出荷が当期に遅延したこと等も影響し、増加しました。また、医用分析装置は、新製品の立ち上げ等により、海外市場向けを中心に増加しました。DNAシーケンサは、新製品投入効果等により大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 65,415 百万円(前年同期比 12.6%増)、経常利益は 8,837 百万円(前年同期比 42.0%増)となりました。

産業・ITシステム

自動組立システムは、震災による自動車メーカーの減産の影響を受け、減少しました。また、ハードディスクドライブも、震災によるサプライチェーンへの影響等により、低調に推移しました。通信用機器は、米国市場向け携帯電話が新規モデル立ち上げ等により好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 60,272 百万円(前年同期比 1.9%増)、経常利益は 131 百万円(前年同期比 20.4%減)となりました。

先端産業部材

工業材料は、顧客の生産調整の影響を受け、液晶テレビ用樹脂原料等が大幅に減少しました。シリコンウェーハ及び液晶関連部材は、震災による顧客の生産停止の影響により大幅に減少しました。光通信関連部材は、新興国市場向けの需要が低迷したことにより減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は 135,742 百万円(前年同期比 14.0%減)、経常利益は 609 百万円(前年同期比 60.0%減)となりました。

(3)平成24年3月期 通期の業績予想

世界経済は、先進国では、日本が想定以上のスピードで東日本大震災からの復興を果たしているものの、米国の雇用環境の改善遅れや、欧州の財政不安に加え、タイでの洪水被害等、世界的にマクロ経済への懸念が広がっております。一方新興国においては、中国やブラジルなどで、内需拡大を中心に総じて堅調な経済成長が見込まれます。

当社を取り巻く環境は、半導体製造装置市場においては、微細化・先端投資は旺盛なものの、パソコンや液晶テレビの需要減等により、量産投資には慎重な動きが見られます。FPD関連製造装置市場は、中国大陆における液晶パネル生産投資計画の遅延から、投資規模・時期が依然不透明な状況にあります。またハードディスク関連製造装置市場においては、業界再編等により、市場成長の一時的な鈍化が予想されます。科学・医用システム関連市場は、欧州および中国を中心としたアジア諸国向けの需要は堅調と予測されますが、価格競争の激化や円高の影響が懸念されます。産業・ITシステム、先端産業部材では、大震災後のサプライチェーンの再建や各種の政策効果などを背景に、国内景気の持ち直し傾向は続くものの、本格的な回復には時間がかかると予想されます。

以上により、当社は平成24年3月期で、売上高650,000百万円(前期比0.5%減)、営業利益28,000百万円(前期比0.4%増)、経常利益28,000百万円(前期比5.0%減)、当期純利益18,000百万円(前期比1.4%増)を業績予想としております。

今後とも、ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップを目指すとともに、最先端・最前線の事業創造企業として、顧客及び市場のニーズにスピーディーに対応し、業績予想の達成を目指してまいります。

(4) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は114,116百万円となり、前連結会計年度末より6,412百万円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権、たな卸資産、仕入債務の運転資金負担が減少したこと等により前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)に比べて15,973百万円増加し、16,213百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、その他の資金運用による支出が増加したこと等により前年同期に比べて14,699百万円減少し、6,284百万円の支出となりました。

以上により、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べて1,274百万円増加し、9,929百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて185百万円増加し、1,382百万円の支出となりました。

当社グループの財務政策として、業容拡大に伴う運転資金及び研究開発投資・設備投資に対応するための適切な流動性の維持と資金の確保、並びに健全なバランスシートの維持を図りながら、財務基盤の強化を行ってまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度により発生した原価差異に関して、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合は、当該原価差異を流動資産又は流動負債「その他」として繰り延べております。

② 税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,968	21,785
受取手形及び売掛金	130,093	126,944
有価証券	80	68
商品及び製品	27,442	26,960
仕掛品	38,366	42,358
原材料	3,030	3,509
関係会社預け金	80,609	91,404
その他	27,386	31,346
貸倒引当金	△1,552	△1,552
流動資産合計	330,422	342,823
固定資産		
有形固定資産	53,873	54,775
無形固定資産		
のれん	1,095	935
その他	5,155	5,338
無形固定資産合計	6,249	6,274
投資その他の資産		
その他	23,739	22,510
貸倒引当金	△1,016	△1,022
投資その他の資産合計	22,723	21,487
固定資産合計	82,846	82,536
資産合計	413,267	425,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,920	102,258
未払法人税等	3,965	4,804
製品保証引当金	2,227	2,189
災害損失引当金	1,082	600
その他	40,679	40,677
流動負債合計	142,874	150,528
固定負債		
退職給付引当金	26,323	26,673
役員退職慰労引当金	306	259
その他	920	727
固定負債合計	27,549	27,659
負債合計	170,423	178,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,938	7,938
資本剰余金	35,745	35,745
利益剰余金	200,920	207,436
自己株式	△325	△325
株主資本合計	244,279	250,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,314	2,747
繰延ヘッジ損益	15	458
為替換算調整勘定	△4,897	△6,997
その他の包括利益累計額合計	△1,568	△3,792
少数株主持分	134	170
純資産合計	242,845	247,172
負債純資産合計	413,267	425,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	335,257	321,562
売上原価	279,505	266,253
売上総利益	55,752	55,309
販売費及び一般管理費	41,989	43,032
営業利益	13,763	12,277
営業外収益		
受取利息	158	187
受取配当金	58	68
為替差益	234	170
雑収入	340	178
営業外収益合計	790	604
営業外費用		
支払利息	39	34
固定資産処分損	137	220
雑損失	44	110
営業外費用合計	221	364
経常利益	14,332	12,517
特別利益		
投資有価証券売却益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
災害による損失	—	580
投資有価証券評価損	20	2
減損損失	153	97
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	303	—
環境対策費	212	—
特別損失合計	688	679
税金等調整前四半期純利益	13,655	11,837
法人税等	3,839	3,903
少数株主損益調整前四半期純利益	9,816	7,934
少数株主利益	36	43
四半期純利益	9,780	7,891

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,816	7,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△697	△567
繰延ヘッジ損益	550	443
為替換算調整勘定	△1,615	△2,107
その他の包括利益合計	△1,762	△2,231
四半期包括利益	8,054	5,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,037	5,667
少数株主に係る四半期包括利益	17	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,655	11,837
減価償却費	4,127	4,074
減損損失	153	97
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	303	—
のれん償却額	166	159
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	488	388
その他の引当金の増減額 (△は減少)	80	△459
受取利息及び受取配当金	△216	△255
支払利息	39	34
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,915	△355
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,260	△6,200
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,757	11,237
その他の資産・負債の増減額	△1,401	△1,116
その他	△77	210
小計	1,899	19,653
利息及び配当金の受取額	219	244
利息の支払額	△8	△9
法人税等の支払額	△1,870	△3,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	240	16,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△401	—
定期預金の払戻による収入	40	—
有価証券の売却による収入	12	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,849	△3,854
有形及び無形固定資産の売却による収入	115	60
投資有価証券の取得による支出	△9	△44
投資有価証券の売却による収入	23	—
貸付金の回収による収入	0	—
事業譲受による支出	△3,315	—
その他	14,800	△2,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,415	△6,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,374	△1,375
その他	△193	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,566	△1,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,854	△2,135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,235	6,412
現金及び現金同等物の期首残高	90,188	107,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,423	114,116

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス システム	ファイン テック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計				
売 上 高										
外部顧客への売上高	47,907	17,438	57,600	55,065	156,884	334,894	363	335,257	—	335,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65	17	500	4,071	1,015	5,667	343	6,010	△6,010	—
計	47,972	17,455	58,099	59,136	157,899	340,561	706	341,267	△6,010	335,257
セグメント利益 又は損失(△)	5,166	504	6,225	164	1,523	13,582	△122	13,459	872	14,332

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,582
「その他」の区分の損失	△122
セグメント間取引消去	6
配分していない全社ののれんの償却額	△51
社内借入金に対する利子の戻入額	419
その他の調整額(注)	499
四半期連結損益計算書の経常利益	14,332

(注) その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス システム	ファイン テック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計				
売 上 高										
外部顧客への売上高	53,083	11,518	64,930	56,908	134,735	321,175	387	321,562	—	321,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	75	14	484	3,364	1,008	4,945	1,883	6,827	△6,827	—
計	53,158	11,533	65,415	60,272	135,742	326,120	2,270	328,389	△6,827	321,562
セグメント利益 又は損失(△)	5,272	△2,315	8,837	131	609	12,535	△510	12,025	492	12,517

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,535
「その他」の区分の損失	△510
セグメント間取引消去	2
配分していない全社ののれんの償却額	△45
社内借入金に対する利子の戻入額	401
その他の調整額(注)	134
四半期連結損益計算書の経常利益	12,517

(注)その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。